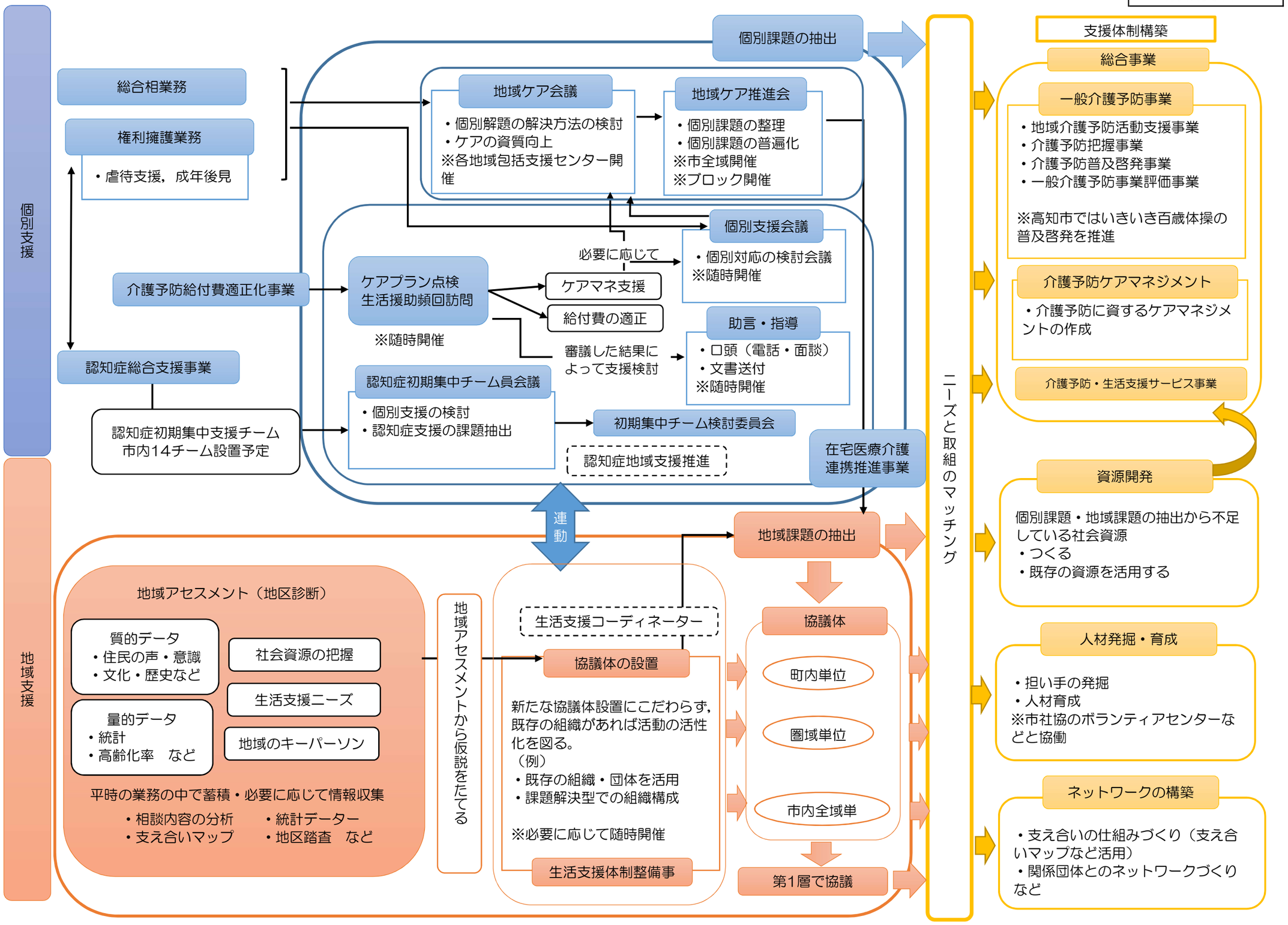
別紙資料2


個別支援
地域支援
総合相業務
権利擁護業務
・虐待支援，成年後見
介護予防給付費適正化事業
認知症総合支援事業
認知症初期集中支援チーム
市内14チーム設置予定
個別課題の抽出
地域ケア会議
・個別解題の解決方法の検討
・ケアの資質向上
※各地域包括支援センター開催
地域ケア推進会
・個別課題の整理
・個別課題の普遍化
※市全域開催
※ブロック開催
個別支援会議
・個別対応の検討会議
※随時開催
必要に応じて
ケアプラン点検
生活援助頻回訪問
※随時開催
ケアマネ支援
給付費の適正
審議した結果によって支援検討
助言・指導
・口頭（電話・面談）
・文書送付
※随時開催
認知症初期集中チーム員会議
・個別支援の検討
・認知症支援の課題抽出
初期集中チーム検討委員会
認知症地域支援推進
在宅医療介護
連携推進事業
連動
地域課題の抽出
地域アセスメント（地区診断）
質的データ
・住民の声・意識
・文化・歴史など
量的データ
・統計
・高齢化率　など
社会資源の把握
生活支援ニーズ
地域のキーパーソン
平時の業務の中で蓄積・必要に応じて情報収集
・相談内容の分析
・支え合いマップ
・統計データー
・地区踏査　など
地域アセスメントから仮説をたてる
生活支援コーディネーター
協議体の設置
新たな協議体設置にこだわらず，既存の組織があれば活動の活性化を図る。
（例）
・既存の組織・団体を活用
・課題解決型での組織構成
※必要に応じて随時開催
生活支援体制整備事
協議体
町内単位
圏域単位
市内全域単
第1層で協議
ニーズと取組のマッチング
支援体制構築
総合事業
一般介護予防事業
・地域介護予防活動支援事業
・介護予防把握事業
・介護予防普及啓発事業
・一般介護予防事業評価事業
※高知市ではいきいき百歳体操の普及啓発を推進
介護予防ケアマネジメント
・介護予防に資するケアマネジメントの作成
介護予防・生活支援サービス事業
資源開発
個別課題・地域課題の抽出から不足している社会資源
・つくる
・既存の資源を活用する
人材発掘・育成
・担い手の発掘
・人材育成
※市社協のボランティアセンターなどと協働
ネットワークの構築
・支え合いの仕組みづくり（支え合いマップなど活用）
・関係団体とのネットワークづくりなど